

令和6年度第3回光警察署協議会会議録

開催日時		令和7年2月14日（金） 午後3時00分から午後4時10分までの間
開催場所		光市中央2丁目1番14号 光警察署3階 大会議室
出席者	委員	平田委員、弘中委員、寶迫委員、岩本委員、富谷委員、長田委員 北村委員 計7名
	警察	警察本部長、署長、次長、警務課長、会計課長、生活安全課長 地域課長、刑事課長、交通課長、警備課長 計10名
議題		1 業務説明 2 協議 デジタル化の効果が実感できる運転免許行政の推進
<p>1 会長挨拶</p> <p>本日は、ご多忙の中、令和6年度第3回光警察署協議会にご出席いただき、厚くお礼申し上げます。光警察署の皆様におかれては、平素から光市、熊毛地区の安全・安心を確保するため献身的に活動していただき、心より感謝申し上げます。</p> <p>本日の諮問事項は、「デジタル化の効果が実感できる運転免許行政の推進」がテーマである。運転免許更新等の自動受付化、運転免許証とマイナンバーカードの一体化、オンライン講習の全国運用開始など、デジタル化による利便性の向上が図られる一方で、業務の複雑化やシステム障害が発生したときの対応など、新たな課題も生じている。</p> <p>我々の視点から、何をどうすればいいのか、英知を結集し協議していきたいと考えている。本日も、皆様方のご理解とご協力を得て、円滑な議事進行に努めたいと思っているので、よろしくお願いする。</p> <p>2 署長挨拶 (省略)</p>		

3 業務説明（署長）～令和6年中の業務推進状況

- (1) 刑法犯の認知・検挙状況
- (2) うそ電話詐欺の認知・検挙状況
- (3) 交通事故の発生状況

4 諮問事項

(1) 説明

デジタル化の効果が実感できる運転免許行政の推進について交通課長が説明した。

(2) 協議

(委員)

身分を証明する際、今のところ運転免許証が一番確実な資料である。顔も写っており、市役所等で身分証の提示を求められた際、ほとんどの人が運転免許証を出すのではないと思う。マイナンバーカードと一体化された場合、所持形態としてマイナ免許証のみ、運転免許証のみ、マイナ免許証と運転免許証の両方から選べるということであるが、免許証自体は今後もなくならないのだろうか。デジタル化がどんどん進んでいくと思うが、「運転免許証を返してください」「運転免許証はもう発行しません」などとならないだろうか。

マイナンバーカードは既に保険証と一体化されており、今後はそれを持ち歩かないといけなくなるが、個人情報が増える点も気になる。身分を証明するために運転免許証を持っていたいという方が出てくる可能性もあり、そういった場合、免許更新の都度、新しい運転免許証を発行していただけるのか。

また、周南免許センターでは、光署の免許業務は対象にならないのか。今までは、光市居住の方が免許更新をするには、山口の総合交通センターか光警察署の2択だったが、今後は周南免許センターも選択肢に入るのだろうか。

最後に、券面上では運転免許情報が確認できないということで、専用のアプリで内容を確認するのか。開発などはどこまで進んでいるのか。例えば職務質問や交通違反等で運転免許証を所持していない場合、どうやって個人や免許証の有無を特定するのか。

(交通課長)

まずマイナ免許証と運転免許証を両方所有することは、手続をしていただければ可能である。ただし、両方を所有する場合、免許の更新料が高くなる。両方を所有すると2,950円となり、最も高額になる。現在、免許の更新手数料は2,500円であるが、両方を所有するとプラス450円となる。マイナ免許証のみでは2,100円となるので、一番高額にはなるが両方所有することは可能である。

マイナンバーカードに記録された免許情報を確認する方法については、マイナポータルを經由して運転者管理システム上の免許情報を確認する方法や、警察庁

で開発しているスマートフォンやパソコン用のマイナ免許証アプリを使用して、マイナ免許証のＩＣチップに記録された免許情報を端末上に表示させる方法があると聞いている。

(委員)

今後、更新の葉書はどうなるのか。

(交通課長)

更新連絡の葉書は今後も届くので、それを確認していただくことになる。

マイナ免許証の方であれば、警察官が所持している携帯端末で免許情報を確認することとなる。

(委員)

例えば免許証不携帯の場合、名前や生年月日から免許の有無を確認すると思うが、そういう理解でよいのか。

(交通課長)

そのとおり。現状でも車検証や健康保険証等、他の身分証を確認するなどして免許の保有状況を照会している。

(委員)

本日のお話を聞き、私たちはマイナ免許証のことを理解できたが、一般の方はどうやって理解すればよいのか。

(交通課長)

運転免許のデジタル化開始を告知するチラシなどを使用し、管内の方に対する広報を推進している。今後、広報紙等も活用し、広報を推進していきたいと考えている。県警のホームページでも、同様の内容を掲載している。

(委員)

葉書にマイナ免許証への移行手続が記載されるのか。

(署長)

免許更新時に送られてくる葉書には、既に大量の情報が記載されており、どこまで記載するのか運転免許課でも侃々諤々の議論を繰り返している。今回、これほどの大きな改正であるので、葉書の中に全ての情報を盛り込めるのか運転免許課も頭を悩ませている。今までと全く同じものではなく、ある程度はそういう内容も記載されたものが届くのではないかと推察している。

(委員)

読取りアプリは、まだ開発されていないのか。

(交通課長)

３月２４日までには用意されと考えている。

(委員)

読取りアプリを携帯に入れておけば、他の人の情報も読み取れるのだろうか。

(交通課長)

恐らく本人のものだけが読み取れるのではないと思う。

(委員)

私は不動産業を営んでおり、本人確認のために免許証を確認しているが、「マイナ免許証に変えたので免許情報が分からない」というときに、それを読み取れるものが欲しい。融資の条件として免許証と保険証のコピーを求めているが、マイナンバーカードに保険証と免許証が一体化されてしまうと、それぞれどのように確認すればよいのだろうか。警察官だけでなく、一般の方も読取りアプリを使用して免許情報等を閲覧できるようになればよいと思う。

(委員)

本人確認資料としては、免許証が最もスタンダードである。

(委員)

融資の申込みの際には勤務先も確認するので、保険証と免許証のコピーを提出してもらっているが、今のところマイナンバーカードを提出するとはなっていない。

(警察本部長)

銀行や郵便局では、本人確認資料としてマイナンバーカードの提出を求めるところも出てきており、業種にもよるが、情勢が変わっていくのではないかと考えている。

(委員)

確かに、マイナンバーカードにも現住所等が記載されている。

(警察本部長)

顔写真があり、住所も入っており、公的機関が発行しているので、本人確認資料としての価値はある。

(委員)

更新履歴は出るのだろうか。

(交通課長)

マイナ免許証についても、更新すれば内容が反映される。

(委員)

私自身、免許証よりマイナンバーカードを使用している。免許証よりもスムーズに手続が進む。

(委員)

マイナ免許証を紛失した場合、再発行まで1週間くらいかかるということであるが、私は保険証も一体化しているので、やはり再発行まで1週間程かかるという理解でよいのだろうか。

(交通課長)

先程お話ししたように、もしご心配であれば別々に保有する選択肢もある。

(委員)

マイナンバーカードに保険証と免許証を一体化すると、情報量が沢山あるため情報漏洩が心配である。

私を含め、高齢者にも更新手続の流れが簡単に理解できるものを、パンフレットだけでなく、通知の葉書にも入れてもらいたい。色々なことができると言われても、「それ、どうすればいいの。」となってしまう。マイナポータルや読取りアプリのインストールなど、高齢者には難しいと思う。それらの理解の促進については、どのように考えているのか。

(交通課長)

情報管理についてであるが、警察では法令に基づき、マイナンバーカードを管理する団体から、本人の同意のもと住所、氏名、生年月日等の情報提供を受けられるが、それ以外の情報については取得できない仕組みとなっている。番号法においても「何人も、法令の規定によらずに、マイナンバーを収集、保管してはならない」とされており、警察が不要なマイナンバー関連情報を収集、保管することのないよう、制度とシステムの両面で担保されている。

(警察本部長)

イメージとしては、1枚のカードの中に免許情報、マイナンバーカードの情報、保険証情報が別々に収納されており、我々警察がアクセスできるのは免許情報だけという考え方である。1枚のカードで3枚のカードを保有しているのと同様の意味であり、色々な情報が含まれているからといって、その全てにアクセスできるわけではない。1枚紛失すれば、3枚紛失することと同義である。

マイナ免許証がどれだけ普及するかという点については、「免許証とマイナンバーカードの両方を持てばよいではないか。」という意見が出ることも予想されており、なかなか進んでいかないのではないかと考えている。

(委員)

実は、私自身、マイナンバーカードと保険証のひも付けをしていない。

(警察本部長)

保険証は昨年12月から新規発行停止となっているが、免許証は引き続き発行できる。一体化を希望される方はその手続をしなければならないが、従来どおりの免許証でいいという方は引き続き持っていて構わない。ただし、オンライン講習はマイナ免許証を持っていないと受講できないので、不都合があるとすればその点である。警察署や免許センターで講習を受けるのであれば、従来どおりで全く問題ない。

(交通課長)

更新の流れを葉書の中に記載するというご意見については、運転免許課にそのような要望があったことを伝えさせていただく。

(委員)

文字ではなく、絵で示していただくとなお良いと思う。

(交通課長)

それについてもしっかり伝えさせていただく。

(委員)

来週、免許更新を控えており、写真を用意するようにと葉書に記載されていた。

マイナンバーカードの写真があっても、写真が必要となるのか。

(交通課長)

マイナ免許証は、基本的に山口県総合交通センターでしか発行できない。即日交付施設には顔写真を撮影する機器があるので、写真を持参する必要はない。

(委員)

私は、マイナ免許証の運用開始前に更新しなければならない。更新以外のタイミングでマイナ免許証に切り替える場合、1,500円必要になるのか。

(交通課長)

そのとおり。更新時以外でマイナ免許証に切り替える場合、別に1,500円必要になる。免許証の更新後に、マイナ免許証に切り替えるという手続となる。

(委員)

将来的には免許証をスマートフォンで見られるようになるのだろうか。

(交通課長)

現在のところ未定であるが、今後はそういう計画もあるかもしれない。

(警察本部長)

スマートフォン型の免許証を含め、様々な検討がなされているものと思われる。

(委員)

マイナンバーカードと一体化することの、警察署のメリットは何か。警察としては一体化を推進していくということか。

(警察本部長)

警察署としてのメリットは多くない。

県民の方々がどの程度利用されるか分からないが、両方持っていていただいても、使いやすい方を持っていていただいても構わない。マイナ免許証だけを持っている方に対しては、逐一、免許の保有事実を確認する手間が発生するが、世の中がDXを推進しており、このような制度が始まった以上、我々としては世の中の流れについて行かなければならず、またそれが大事なことだと考えている。

(委員)

警察署の中で手続が楽になるのか。

(交通課長)

自動申請受付機により職員の負担が多少は減ると思うが、保有形態が3パターンに増えることを考えると、業務負担の減少とはいえないかもしれない。

(警察本部長)

確実に負担が減る点としては、マイナ免許証があれば住所変更のために警察署に行く必要がなくなることである。我々はよく引っ越すため、マイナンバーカードの住所を書き換えているが、そうでない方にはメリットにならない。

(委員)

何パーセントがマイナンバーカードを作っているのだろうか。

(委員)

システム障害が発生したときの対応も大変ではないか。

(署長)

今は共通基盤システムとなっているため、障害が発生すれば全国に影響する。

(交通課長)

マイナンバーカードの所有率については、10月20日時点で人口の83.8パーセントとなっており、ほぼ皆さんが持っておられる。

(警察本部長)

今度、周南免許センターが開設されたとして、光警察署管内の方が周南免許センターまで行くことはあるのだろうか。周南で即日交付を受けられるとなれば、どちらを望まれるのだろうか。

(委員)

即日交付ができるのであれば、周南免許センターに行こうと思う。1日がかかりで大変ではあるが、今までも何回か山口の免許センターに行っている。

(委員)

光警察署で十分だと考えている。移動時間を考えると、即日交付の必要性は感じない。

(警察本部長)

更新手続が1回で済むというメリットはあるが、いかがか。

(委員)

1回で済んだとしても1時間かけて行くほどではない。個人的には、2回に分けて行くことが苦にならない。

(警察本部長)

将来的には、利用者が少ないのであれば、光警察署でも、例えば移動式の免許更新業務に移行することを考えていかなければならないと思っている。

実は、周南免許センターは、当初の計画と異なり、日曜日にも開所する予定としている。山口の免許センターも日曜日に開けており、その代わりに平日の一部を閉庁日とする。

(委員)

場所はどこになるのか。

(交通課長)

資料中にあるが、周南総合庁舎である。徳山小学校の北側にある。

(委員)

私は自営業であるが、仕事を抱えていると、もう1回手続に行くのは厳しいので、1日で更新が終わるのであれば、日曜日にゆっくり更新手続をしたいと思う。

(警察本部長)

忙しい方であれば、周南免許センターに流れるのではないかと考えている。そうした考えから、周南周辺の警察署の免許窓口を閉鎖することとしたが、即日交付の

利便性があれば、やはり免許センターに行くのではないだろうか。

広瀬幹部交番や江崎幹部交番などは、人があまり来ないので窓口が閉鎖されることとなったが、今後、月に1回の頻度で出張免許事務などの対応を考えている。

今回、周南免許センターが開設されることで、光警察署管内からどのくらいの人
が流れていくのか、我々としても関心を持っている。

(委員)

光警察署における免許更新の実態はどうなっているのか。

(交通課長)

当署は免許更新の数が多く、県下で5番目くらいに多い。1日平均では約33人分の免許関連事務を取り扱っているので、多いことは間違いない。周南免許センターが開設された場合、どのくらいの人数が流れていくのか、よく確認する必要がある。

(委員)

八代地区からは周南に流れると予想している。

(委員)

確かに、そこからであれば光警察署に来るより便が良いかもしれない。

(委員)

私は岩国に近いので、ずっと岩国に行っている。

(交通課長)

熊毛地区の方は、岩国西幹部交番や岩国警察署に行かれる方もいると聞いている。

5 諮問事項以外の意見・要望

(委員)

八代の県道上に、枯れた木が道路にかかっている箇所がある。警察は道路に落下してから対処すると思うが、市や行政と連携して事前に対処することはできないか。そこを通りかかるたび、「落ちてこなければよいが」と思っている。管轄は別かもしれないが、話し合いをしていただきたい。

(交通課長)

そういった箇所を把握した場合、道路管理者等と情報共有の上、切っていただくようお願いすることはできるが、その後は道路管理者等の判断となる。

(委員)

まずは話をしていただければと思う。

(交通課長)

例えば「竹が倒れている」「木が折れて危ない」などの通報があれば、必ず道路管理者に連絡している。

(委員)

国道2号のパチンコ店等がある交差点で、1月と2月に続けて事故が発生した。

その他、事故になりそうなところを見かけた方もいるなど、最近、その交差点が危険だと感じている。

また、その交差点を右折すると大きな団地が2つあるほか、スーパーも近日中に開店する予定がある。右折レーンで待っていても、信号が変わるのが早くてなかなか右折できないので、矢印信号の設置をお願いしたい。

(交通課長)

現場で信号サイクルを確認するなどし、設置できるかどうかの検討も含め、事故防止対策を進めていきたいと考えている。

(委員)

その付近のカーブは、迅速に対応していただき事故が少なくなった。最近では、パチンコ店付近の交差点で事故が続いているので、よろしくお願いします。

(交通課長)

承知した。

6 警察本部長所感

色々なご意見をいただき感謝する。

新しい制度でもあり、どこまで浸透するかは分からない。我々としても、できる限り分かりやすくしていく必要があると考えているので、本日いただいたご意見を持ち帰り、検討を加えていきたい。

今後とも、光警察署に対するご理解をいただくとともに、色々なご意見をよろしくお願いします。

7 次回開催予定

次回の会議日程については、別途、調整することとした。